

# 抽出検査の過程で気付いた事項(記入漏れ等)

(平成21年2月 中国四国農政局)

・領収書と同じ日付を記入しましょう。  
(誤って通帳の引出日を記載)

・領収書に記入した整理番号を記入しましょう。(記入漏れ)

・備品等の保管場所を記入しましょう。(デジタルカメラの保管場所が不明)

平成20年度 農地・水・環境保全向上対策 金銭出納簿

**( )の内容が検査の過程で気付いたものです。**

活動組織名: **地区農地・水・環境保全会**

日付	内容	収入(円)	支出(円)				残高(円)	領収書番号	活動実施日	備考(財産の保管場所)
			日当	購入・リース費	委託費	その他				
5月10日	共同活動支援交付金の受取	2,237,120					2,237,120			
5月15日	パソコンリース料			100,000		100,000	2,137,120	1		公民館
6月20日	カバープランツ購入費			50,000		50,000	2,087,120	2	6月25日	
6月25日	日当 (1,000円×30人)		30,000			30,000	2,057,120	3	6月25日	
7月5日	事務用品代 (コピー用紙その他)				10,000	10,000	2,047,120	4		
7月15日	研修講師代			10,000		10,000	2,037,120	5	7月15日	
						...	...	...		
						...	...	...		
						...	...	...		
						...	...	...		
						...	...	...		
3月31日	次年度繰越						37,364			
	<b>合計</b>	<b>2,237,364</b>	<b>200,000</b>	<b>1,100,000</b>	<b>300,000</b>	<b>600,000</b>	<b>2,200,000</b>			

・活動組織が複数地区で構成されている場合、日当支払の領収書に地区名などを記載しましょう。(支払額の内訳が確認できない)

・数回分の日当をまとめて支払う場合には、集計表等を整理しましょう。(作業日、作業時間、作業単価の合計が確認できない)

・日当や役員報酬などの単価を整理してください。(同じ作業で単価が違う)

・実際の活動実施日を記入しましょう。(月の記載しかない、記入漏れ)

領収書は、通し番号を記入した上で、必ず保管しておいてください。(領収書の保管の方法は袋等による保管でも構いません。)

「支出」には、下表を参考に該当する支出費目の欄に金額を記入します。

支出費目	内容
日当	活動参加者に対して支払った日当
購入・リース費	資材(碎石、砂利、セメントなど)の購入費、活動に必要な機械(草刈り機など)の購入費、パソコンなどのリース費、車両、機械等の借り上げ費、花の種、苗代など
委託費	建設業者等への外注費、事務の外注費、または、技術指導等のための外部から招く専門家等への謝金
その他	先進地視察や研修にかかる旅費、保険料、文具代及び光熱費の費用、アルバイト等への賃金、草刈り機や車の燃料代、役員報酬、お茶代など

・領収書のあて名は、活動組織名を記入しましょう。(誤って自治会名を記入、あて名がない)

・立替者に支出する場合は、立替者の領収書が必要です。(立替者の領収が確認できない)

・領収書またはレシートに、品目及び数量を記載しましょう。(支払い金額しか分からない)

・金銭出納簿(通帳を含む)は、共同活動支援交付金、営農活動支援交付金ごとに、別々の金銭出納簿で管理しましょう。(通帳が区分されていない)

・会議や視察等で交付金の支出がある場合には、議事録や視察状況の写真等を整理しましょう。(交付金の支出があるが会議や視察の内容が不明)

・視察等は、領収書以外に見積書や行程なども整理しましょう。(視察研修の行程が不明)

## [抽出検査のまとめ](農政局管内42活動組織を対象に実施)

交付金を支出する場合には、「領収書～金銭出納簿～活動実施日」までの一連の流れが、説明できるように会計処理、事務処理等を行ってください。

# 活動組織代表者等の意見・要望(抽出検査時に聞き取り)

(平成21年2月 中国四国農政局)

## 取り組んで良かったことや意識の変化など

- ・農業施設の管理などの共同作業により、地域の団結が強くなった。
- ・排水路の清掃を非農家の協力により実施できた。(個人 共同 非農家の参加)
- ・地域のみんで取り組む意識が増えた。
- ・地域の草刈が年1回から2～3回に増えた。
- ・地域で要望が高かった、農道の舗装ができた。
- ・20年ぶりにため池の水抜きを行い、水がきれいになった。
- ・環境向上の意識が高まり、地域に投棄されるゴミが減った。
- ・解散寸前の老人会が、活動に参加して存続している。
- ・遊休農地の世話(草刈等)に苦労していたが、この対策で保全管理を行っている。

## 今後の地域農業や集落など

- ・今後、この活動組織で何が出来るか、地域としての役割を検討して行きたい。
- ・地域のブランド米の生産等、今後の取り組みについて話し合いを行っている。
- ・高齢化により農業施設の管理が個々では困難なため、地域の管理として取り組んで行く。
- ・将来を考えて、お金を当てにしない方向で進めて行きたい。
- ・地域を昔のような自然環境に戻したい。(昔はホタルがいた)
- ・梅祭りを19年間行っているが、この対策を活用して更に地域の発展を目指す。
- ・コスモス祭り(数千人が参加)の開催の継続など地域の発展を目指す。

## 本対策に対する要望など

- ・地域ではこの対策が役立っており、23年度以降も対策の継続を要望する。
- ・交付金の単価を上げて欲しい。(特に法面積の多い中山間地域)
- ・他地区の活動事例を紹介して欲しい。
- ・地区内に河川があり、この交付金で農地と一体として活動を行いたい。
- ・カメラに不慣れな農家では、なかなか記録に必要な写真が取れない。
- ・今の様式に慣れたので、様式は変えないで欲しい。
- ・昨年に事務手続きの簡素化が行われたが、更なる簡素化を要望する。(書類が多い)
- ・体制整備構想(案)の作成が必要だが、負担が少ないようにして欲しい。
- ・営農活動支援交付金(基礎支援)の用途について、分かりやすい資料が欲しい。

活動組織代表者や市町村の担当者の方におかれましては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。